

処方解析演習/実践的薬学演習

責任者・コーディネーター	薬物代謝動態学講座 小澤 正吾 教授		
担当講座・学科(分野)	薬物代謝動態学講座、細胞病態生物学講座、創剤学講座、臨床医化学講座、機能生化学講座		
対象学年	5	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	通期		
単 位	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

保険調剤薬局、病院薬剤部に勤務する薬剤師は「薬の専門家」である。処方せんを持って薬局を訪れた患者に対して、在宅医療の場や、ベッドサイドで、有効性、安全性を最大にする薬物療法の施行を第一義に考えることが求められている。処方せんをみた薬剤師は、処方内容から、患者の疾患、ならびにその重症度を推測するとともに、処方が適正であるかどうかを判断する資質を身につける必要がある。本科目では、5年次の小人数のグループ討論を含む演習科目（自由科目）とし、卒業研究に従事している時期の学生を対象とする。従って、年間で3つの時期に8コマずつ実施する。実務実習前の学生については、これまでに学んできた医療系科目の知識を動員し、実務実習を終えた学生の場合は、その知識と経験を生かし、処方せんをみて、必要に応じた疑義照会や、適正な服薬指導を施行する能力を養うための演習を行う。薬剤師は特にハイリスク薬を使用している患者さんの状態を把握し、定期的に薬局を来訪する患者につき、普段と変わった兆候がないかどうかを確認する必要がある。ひいては、想定される副作用を未然に防止、あるいは副作用を早期に発見し重症になることを防止することで薬物療法を支える職種である。本科目では、処方内容の吟味、ならびに医薬品情報の収集と評価を通じて、処方薬物の特徴を十分に理解する。その上で、患者の疾患の推定と重症度の評価を行い、薬物の適正使用を施行する能力を身につけることを基本理念とする。

・一般目標（GIO）

患者が持参した処方せんを基に、疾患とその重症度を推定・評価し、適正な薬物療法を施行する能力を修得させる。

・到達目標（SBO）

1. 代表的な疾患の症候について理解し、概説できる。
2. 処方内容から、疾患名、および重症度を判断する。
3. 処方薬物について、警告、禁忌、薬物相互作用を調査し、説明できる。
4. 処方医薬品の製剤の意義と、医薬品の適正使用の関連について説明できる。
5. 処方内容のほかに考えられる適切な薬物療法を考案できる。

・講義日程

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
C	5/15	水	1	薬物代謝動態学講座 創剤学講座 臨床医化学講座 細胞病態生物学講座	小澤 正吾 教授 佐塚 泰之 教授 那谷 耕司 教授 北川 隆之 教授	演習科目のねらい 処方薬の特性と疾患

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
C	5/22	水	1	創剤学講座	佐塚 泰之 教授	処方監査： 薬名、組成、製剤の特徴（剤形）
C	6/5	水	1	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授	処方監査： 処方と随伴疾患
C	6/12	水	1	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授	疾患の症候と重症度
C	6/19	水	1	臨床医化学講座 細胞病態生物学講座 薬物代謝動態学講座 機能生化学講座	那谷 耕司 教授 北川 隆之 教授 小澤 正吾 教授 大橋 一晶 准教授 中西 真弓 准教授	処方解析の実践 グループ課題学習 （那谷教授、北川教授、小澤教授の3種の処方から1つを選択）
C	7/3	水	1	臨床医化学講座 細胞病態生物学講座 薬物代謝動態学講座 機能生化学講座	那谷 耕司 教授 北川 隆之 教授 小澤 正吾 教授 大橋 一晶 准教授 中西 真弓 准教授	処方解析の実践 グループ課題学習 （那谷教授、北川教授、小澤教授の3種の処方から1つを選択）
C	7/10	水	1	薬物代謝動態学講座 細胞病態生物学講座 創剤学講座 臨床医化学講座 機能生化学講座	小澤 正吾 教授 北川 隆之 教授 佐塚 泰之 教授 那谷 耕司 教授 中西 真弓 准教授 大橋 一晶 准教授	症例解析・処方解析の実践 発表と討論
C	7/17	水	1	薬物代謝動態学講座 細胞病態生物学講座 創剤学講座 臨床医化学講座 機能生化学講座	小澤 正吾 教授 北川 隆之 教授 佐塚 泰之 教授 那谷 耕司 教授 中西 真弓 准教授 大橋 一晶 准教授	症例解析・処方解析の実践 発表と討論
B	9/10	火	1	薬物代謝動態学講座 創剤学講座 臨床医化学講座 細胞病態生物学講座	小澤 正吾 教授 佐塚 泰之 教授 那谷 耕司 教授 北川 隆之 教授	演習科目のねらい 処方薬の特性と疾患
B	9/18	水	1	創剤学講座	佐塚 泰之 教授	処方監査： 薬名、組成、製剤の特徴（剤形）
B	9/25	水	2	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授	処方監査： 処方と随伴疾患
B	10/1	火	1	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授	疾患の症候と重症度

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
B	10/16	水	2	臨床医化学講座 細胞病態生物学講座 薬物代謝動態学講座 機能生化学講座	那谷 耕司 教授 北川 隆之 教授 小澤 正吾 教授 大橋 一晶 准教授 中西 真弓 准教授	処方解析の実践 グループ課題学習 (那谷教授、北川教授、小澤教授の3種の処方から1つを選択)
B	10/22	火	1	臨床医化学講座 細胞病態生物学講座 薬物代謝動態学講座 機能生化学講座	那谷 耕司 教授 北川 隆之 教授 小澤 正吾 教授 大橋 一晶 准教授 中西 真弓 准教授	処方解析の実践 グループ課題学習 (那谷教授、北川教授、小澤教授の3種の処方から1つを選択)
B	10/29	火	1	薬物代謝動態学講座 細胞病態生物学講座 創剤学講座 臨床医化学講座 機能生化学講座	小澤 正吾 教授 北川 隆之 教授 佐塚 泰之 教授 那谷 耕司 教授 中西 真弓 准教授 大橋 一晶 准教授	症例解析・処方解析の実践 発表と討論
B	11/6	水	1	薬物代謝動態学講座 細胞病態生物学講座 創剤学講座 臨床医化学講座 機能生化学講座	小澤 正吾 教授 北川 隆之 教授 佐塚 泰之 教授 那谷 耕司 教授 中西 真弓 准教授 大橋 一晶 准教授	症例解析・処方解析の実践 発表と討論
A	1/10	金	1	薬物代謝動態学講座 創剤学講座 臨床医化学講座 細胞病態生物学講座	小澤 正吾 教授 佐塚 泰之 教授 那谷 耕司 教授 北川 隆之 教授	演習科目のねらい 処方薬の特性と疾患
A	1/15	水	1	創剤学講座	佐塚 泰之 教授	処方監査： 薬名、組成、製剤の特徴(剤形)
A	1/21	火	1	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授	処方監査： 処方と随伴疾患
A	1/28	火	1	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授	疾患の症候と重症度
A	2/6	木	1	臨床医化学講座 細胞病態生物学講座 薬物代謝動態学講座 機能生化学講座	那谷 耕司 教授 北川 隆之 教授 小澤 正吾 教授 大橋 一晶 准教授 中西 真弓 准教授	処方解析の実践 グループ課題学習 (那谷教授、北川教授、小澤教授の3種の処方から1つを選択)
A	2/14	金	1	臨床医化学講座 細胞病態生物学講座 薬物代謝動態学講座 機能生化学講座	那谷 耕司 教授 北川 隆之 教授 小澤 正吾 教授 大橋 一晶 准教授 中西 真弓 准教授	処方解析の実践 グループ課題学習 (那谷教授、北川教授、小澤教授の3種の処方から1つを選択)

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
A	2/25	火	1	薬物代謝動態学講座 細胞病態生物学講座 創剤学講座 臨床医化学講座 機能生化学講座	小澤 正吾 教授 北川 隆之 教授 佐塚 泰之 教授 那谷 耕司 教授 中西 真弓 准教授 大橋 一晶 准教授	症例解析・処方解析の実践 発表と討論
A	3/4	火	1	薬物代謝動態学講座 細胞病態生物学講座 創剤学講座 臨床医化学講座 機能生化学講座	小澤 正吾 教授 北川 隆之 教授 佐塚 泰之 教授 那谷 耕司 教授 中西 真弓 准教授 大橋 一晶 准教授	症例解析・処方解析の実践 発表と討論

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	薬物治療学 改訂2版	吉尾 隆 他	南山堂	2013

・成績評価方法

試験、出席状況、情報検索、演習、プレゼンテーション、討論の進め方、実習レポートなどから総合的に評価する。